

読解のポイント

- 筆者が日本の生け簀料理屋に初めて連れていってもらって、店員から目の前で料理してくれる魚を自分で選ぶための網を渡されとまどっている状況。
- ウエーターから渡されて、ビニール袋に入れて持ち帰った魚。

● 解答 ●

- 問1 (1) dressed (4) left (5) swimming (6) lying (7) surprised
 問2 (ア)
 問3 食べたい魚を決めた。
 問4 2人
 問5 (ウ)
 問6 (エ)

解説

問1 (1) be dressed in で「～を着ている」ここは, all (being) dressed in の分詞構文の省略形。 (4) leave 「(人を)後に残していく」 (5)(6) は〈see+O+～ing〉「Oが～しているのを見る」の～にあたる動詞。 lie 「横たわる」 lay—lain—lying の活用に注意。 (7) (1)と同じく (being) a bit surprised の分詞構文と考える。

問2 It は第二段落最初の二文を指すが、(イ)は(ア)の疑問の答えの一例にすぎない。(ウ)「店員はいつ『らっしゃい』と叫ぶのか?」(エ)「どうやってテーブルまで案内してもらえるのか?」はともに文意に合わない。

問3 make a choice 「選択をする」の後の, Very soon it became sashimi. から「料理してもらう魚」とわかる。

問4 登場人物は、店員、友人のヨシタカ、筆者である。

問5 本文の内容から、水槽の魚をその場で料理してくれるところだとわかる。

問6 (ア)「ヨシタカは筆者を」である。(イ)「水槽の灰色の魚が目に留まった。」である。(ウ)「新鮮な魚肉のスライス(刺身)」である。

《全訳》「違ったものを試してみなくちゃ。」と彼は言った。入り口のすぐ近くに水槽のある例のレストランの一つに私たちは行った。戸が開き、中から軍人スタイルの短い髪型で白装束の男が「らっしゃい」のような言葉を叫んだ。テーブルに案内されて着席すると、ウエーターが網を三つ持ってきた。一つは私に、もう一つはヨシタカへだった。

「何のためだろ?」「蚊でもいるのだろうか?」私はいぶかった。それはなぞだった。水槽まで案内されると、ヨシタカは経験が大変豊かだったので、しばらく水槽を見つめすぐに魚を選んだ。魚は網から飛び出ようとしたがだめだった。すぐさまその魚は「刺身」になった。今度は私の番だった。ヨシタカはテーブルの所に戻ってしまい、私はウエーターと二人っきりにされた。

ウエーターは「一匹選んでください。」と言った。さらによく見ると、小さな灰色の魚が私の

目にとまった。初めは、自分が食べるものが今泳いでいて、次の瞬間には皿の上に乗っているというのを考えたくもなかった。しかし、これは彼のおごりだし、日本に滞在中はできるだけ多くの経験を、と思った。事実、この魚はおいしそうだった。その魚はガラスに近寄ってきて私の顔を見始めた。網で捕まえようとしたが、一回、二回と魚は私の網を何とか逃げた。ウエーターは横で拍手しながら、「もう一回もう一回。もっと大きいやつを。」と励ましてくれた。その小さな灰色の魚は、まだ私を見ていた。

その目は「私を食べないで。」と言っているかのように私をじっと見つめていた。私が席へ戻ると、ヨシタカは注文は済んだかと尋ねた。「もちろん。」と私は答えた。ヨシタカの食事が運ばれてきた。魚肉の小さな薄切りが皿の上でまだ動いていた。

「生きのいい魚がおいしい。」と彼は言って、彼は幸せそうに食べ始めた。やがて、ウエーターが私の注文、スープ、卵二個、白いご飯一杯を持ってきた。

「これが本当に君の注文?」ヨシタカは少々驚いて尋ねた。私はスープを飲み、ご飯にマヨネーズをかけながら「そうだよ。これしか食べたくないんだ。」と言った。

帰りがけに、ウエーターがそんなに小さくないビニール袋の中で楽しげに泳いでいるあの灰色の小魚を持ってきたのでヨシタカはとてもびっくりした。

こうしてその魚は今も私の部屋の水槽で元気に泳いでいるのである。名前をマックという。

◆語彙力 up! (意味を確認しよう) ◆

- 水槽 経験を積んだ 選ぶ 逃げる おいしい
 なんとか～する 手をたたく ～したい気がする ～をかける

他の重要な語句 close to 「～に近い」 guy 「男」 What is ~ for? 「～は何のため?」
 for a while 「しばらく」 turn 「順番」 catch one's attention 「目にとまる」 at first 「最初のうちは」
 gain 「得る」 a bowl of 「茶碗一杯の」

読解のポイント

- 本文最終文の子供が現実と仮想を混同している大人たちを見て “I think they're all crazy!” と叫んだ箇所。
- 非常に真剣に取り組み被災者になりきった。

● 解答 ●

- 問1 訓練中の大人が現実と仮想訓練を混同して泣き始めたから。
 問2 (ア) to leave (ウ) leaving (オ) lying (カ) living (キ) moved
 問3 (イ) waited for the siren to sound again
 (エ) used to make the injuries look realistic
 問4 (1) b (2) c (3) b (4) a (5) d (6) d (7) a
 問5 全訳下線部(8)(9)参照